

5月土曜研修



中村設計新聞

第百二十二号

五月十八日
晴れ

「はじめに」

5月の土曜研修は大阪「北浜レトロ建築巡り」を行いました。事前に北浜の歴史、見学予定の建物が使われているドラマ「名建築で昼食を」を通じて学習しました。

「大大阪時代」（大正時代）

約100年前は、面積・人口で東京を上回る日本一の都市「大大阪」と呼ばれました。1925年の大阪市は人口200万人、繊維産業の集積から「東洋のマンチェスター」とも称されました。北浜に残るレトロ建築は当時の大阪の勢いの象徴と言えます。

「北浜レトロ建築巡り」

まず、北浜レトロ建築では有名な「芝川ビル」でベトナム料理をいただきました。その後、ボランティアガイドさんに案内していただき、様々な建物を見学しました。多くの建物が現在も利用されており、見るだけでなく空間を体感することができた研修となりました。



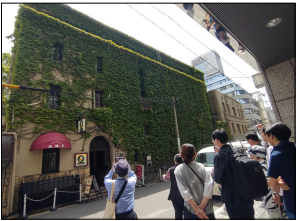
ガイドマップ



芝川ビル



生駒ビルディング



青山ビル
蔦は甲子園から分株



幅広いガイドさんのお話しがとても勉強になりました



中之島公会堂で記念撮影

新入所員紹介

5月より入社しました藤田麻里です。建築石材アドバイザーとして20年間近く石施工図面を書いてきました。これまで石を通じて、新旧様々な建築物との出会いを楽しみにして来ましたが、今まではどこに行っても石の納まりをまず見ていたのですが、今後は建築全体や成り立ちにも目を向けて行きたいと思っています。よろしくお願いします。



竣工物件

「丹後海陸交通株式会社 一の宮駅高付加価値化事業」

このたび地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業として、宮津市天橋立観光船のりば「一の宮駅」の改修工事が完了しました。

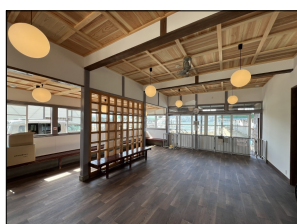
内装改修が主体で、観光客の集客アップを目的とし、階段、間仕切壁変更等の設計・監理を行いました。建物全体に木をふんだんに使い、温もりのある空間となるよう意識しました。建物に入ると1階の格天井が目に入る空間が特徴です。また、事務室や窓口の配置を変更し、動線の整理も行うとともに、建物の長寿命化につながるよう配慮しました。



待合室①



待合室②



待合室③



外観



「京都府ニュース」

京都府は5月13日、子育て支援などを柱とする包括連携協定をダイドードリンコ（大阪）と締結し、協定に基づき、おむつも購入できる自動販売機を商業施設など4カ所に設置されること、が決定しました。京都市内のイオンモールKYOTO（南区）2カ所、京都駅ビル4階（下京区）、スポーツ複合施設「サングリーン」（伏見区）に設置されました。今後は京都府内各地へ展開予定とのこと。売り上げの一部は、府の子育て支援策に寄付され、安心して子育てができる環境づくりをはじめめる一つの地域課題の取り組みが始まりました。

「個室サウナ」

初めて個室サウナに行ってきました。室内は、サウナ室、洗面脱衣（休憩室）、シャワー室、便所とコンパクトな間取りでしたが、壁に森の中をイメージしたクロスが張られており、自然を感じれる落ち着く空間でした。

柴田優斗



サウナ室



洗面脱衣（休憩室）



中村設計菜園



ぐんぐん背を伸ばす3種の野菜は、所狭しと枝を広げ、競争するように葉をつけています。そしてかわいらしい花を各々つけたと思えば、そのあとすぐ実を結び始めました！こうして目に見える変化に気づくと、励まされるとともにとても嬉しくなります。種類によっては来月から収穫時期のものもあるので、実食も楽しみです。幸いなことに、今月は雨が続き日照りに悩まされたりすることなく順調にお世話が出来ました。これから夏が近づいてきて、梅雨や猛暑日もやってきます。それぞれ野菜たちの得意不得意な環境を今のうちに学び、大切に守りつつ、引き続き成長を楽しみにしていきます。



ミニトマト



ナス

花も咲き、徐々に実をつけています



ししとう

次号は6月末日発行予定です。



株式会社

中村設計